

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	落 浩治	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9841		事務事業名称	污水管渠改良事業						短縮コード	経常	9841	臨時	
予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	公共下水道施設改良費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		下水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
老朽化した下水道施設を計画的に改築・更新工事を行い，機能確保，長寿命化対策を図り，ライフサイクルコストの最小化に努める。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
東日本大震災以降，施設の耐震化による機能確保と供用開始以来40年以上経過して老朽化が懸念される管路施設が増えている。						大項目（節）	04	第4節下水道						
						中 項 目	01	1. 下水道						
						小項目（施策）	02	(2)汚水排水の整備						
						細 項 目	01	①汚水施設の整備拡充						
実施計画の計画事業	5087	污水管渠整備事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	設置後，処分制限期間を過ぎた汚水施設						
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 汚水幹線管渠築造工事						
	※平成25年度に計画していること： 汚水幹線管渠築造工事 公共下水道長寿命化計画管渠実施設計業務委託						
意図 （何を狙っているのか）	老朽化した施設の機能確保と管渠整備により，ライフサイクルコストの最小化を図る						
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外						
区 分			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	汚水幹線管渠築造延長	m	0	950	0	950
	指標 2	処分制限期間を過ぎた污水管延長	m	0	220	0	220
	指標 3						
活動指標	指標 1	汚水幹線管渠築造延長	m	0	950	0	950
	指標 2	長寿命化計画実施設計延長	m	0	220	0	220
	指標 3						
成果指標	指標 1	汚水幹線管渠築造延長	m	0	950	0	950
	指標 2	汚水管路改良延長	m	0	220	0	0
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		9841	事務事業名称	污水管渠改良事業			所属名	建設課
			単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	2, 352	208, 467	38, 150	61, 108	
		県	千円					
		地方債	千円	2, 300	188, 000	34, 300	55, 300	
		一般財源	千円	52	38, 144	5, 542	10, 555	
		その他	千円					
	主な事業費の内訳			委託料4, 704千円	委託料8, 694千円 手数料5千円 工事費411, 537千円 補償費14, 375千円	手数料 5千円 工事費76, 300千円 補償費1, 687千円	委託料7, 749千円 工事費(繰越)2件 119, 214千円	
人件費(B)			千円	3, 731. 6	3, 581. 8	4, 675. 8	4, 675. 8	
トータルコスト(A)+(B)			千円	8, 435. 6	438, 192. 8	82, 667. 8	131, 638. 8	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		老朽化した污水施設の機能確保を図るため，更新を進め污水施設の整備に結び付いている				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		ポンプ場統合による污水幹線管渠築造工事の実施を計画しており，また，老朽化した管の長寿命化を図る実施設計を今後も引き続き策定して目的を達成していく				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		下水道法により事業の実施は市が行うものと義務づけられている				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」・「意図」で老朽化した管路施設の計画的な更新が進む					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		国の下水道長寿命化支援制度を活用して，老朽化した下水道施設を計画的に改築・更新工事を進めることにより，有効性向上が図られる。				
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☒ 上記以外の方法						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☐ ない						
実施にあたり，人員及び経費増。									

